

せたがやの文化財

No. 023

編集・発行

世田谷区教育委員会事務局

生涯学習・地域・学校連携課 文化財係

〒154-8504 世田谷区世田谷 4-21-27

Tel 03(5432)2726 Fax 03(5432)3039

http://www.city.setagaya.tokyo.jp/

発行日 平成23年 3月 2日

新しく登録・指定された文化財



区登録有形文化財（建造物）
船橋観音堂厨子

観音堂の堂内に納められている厨子（仏像などを安置する仏具）は、桁行1間（60.2cm）、梁間1間（91cm）の規模で、正面に両開きの扉が付いています。

厨子の各所に枳取りや花草の文様が確認できる他、柱には金箔が貼られ、各部に飾り金具を打つなど相当に手の込んだ細工が施されています。意匠的、技術的に優れた厨子であることから、区登録有形文化財として「世田谷区文化財登録台帳」に登録されました（5ページ参照）。

区指定有形文化財（考古資料）

瀬田遺跡環濠出土の
古墳時代土器一括



区指定有形文化財（建造物）

志村家住宅

内部非公開

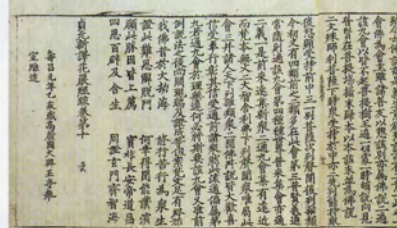


国指定重要文化財（書跡・典籍）

高麗版貞元新訳華嚴經疏
巻第十

大東急記念文庫

（財団法人五島美術館）



区指定有形文化財

瀬田遺跡環濠出土の古墳時代土器一括

指定年月日 平成23年2月25日

種別 考古資料

所在地 宇奈根1-8-21 宇奈根考古資料室

※出土の場所は瀬田1-12、28

国分寺崖線に沿った高台、瀬田一丁目
一帯に広がる瀬田遺跡の第18次調査と第
24次調査では、環濠（集落を取り囲んだ
堀のようなもの）が発見されました。こ
の環濠から出土した土器175点が「瀬田
遺跡環濠出土の古墳時代土器一括」とし
て、新たに区指定有形文化財に指定され
ました。

この土器群の特徴は、古墳時代前期に
使われた土器（土師器）のほぼ全種類が
揃っていることです。

この土器群には、①弥生時代からの伝
統を引き継いだ土器、②東海地方西部か
ら運び込まれた土器や③運び込まれた土
器を模倣して製作された土器が含まれ、
古墳時代前期初めころの関東地方のよう
すを知ることができる貴重な資料です。



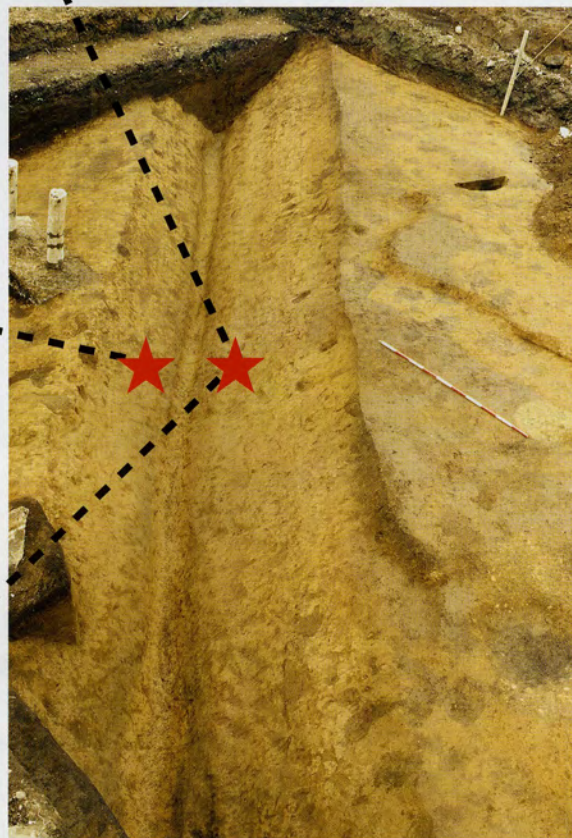
小型土器群



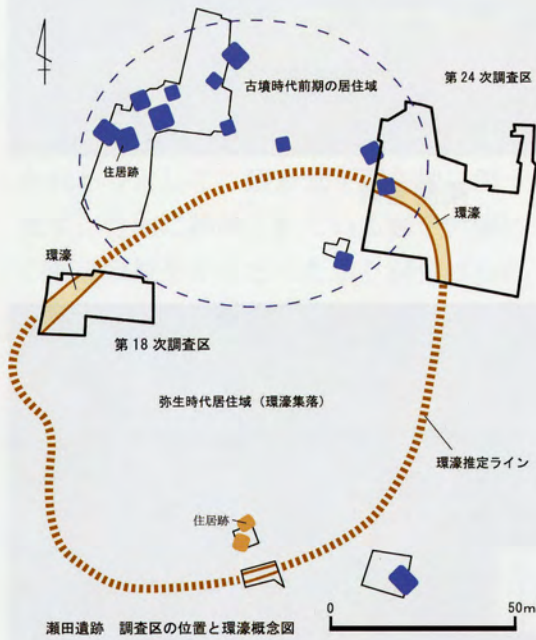
在地の台付甕



在地の平底甕



第18次調査区の環濠



東海地方から運ばれた台付甕(左)と
東海地方の土器の模倣品(右)



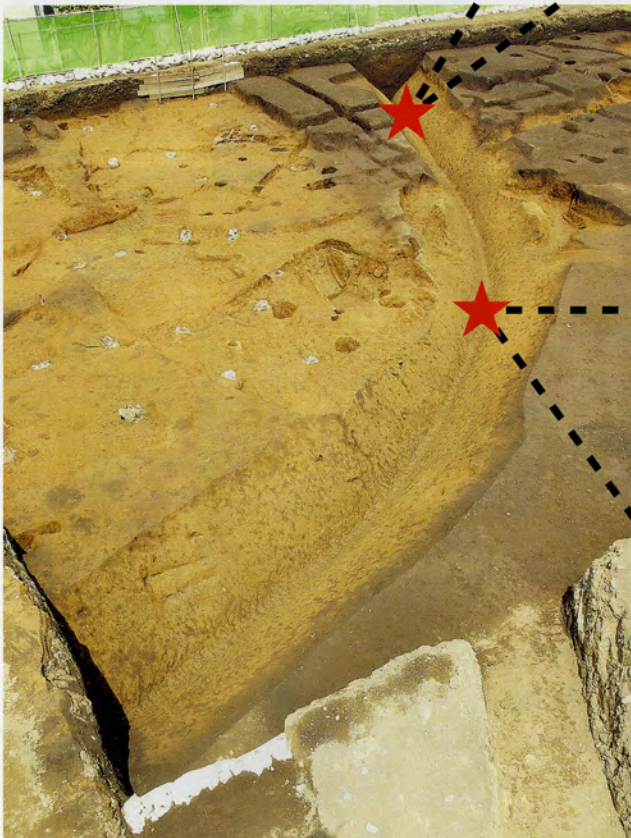
在地の台付甕(左)と平底甕(右)



東海地方の影響を受けた小型土器



在地の小型土器



第24次調査区の環濠

区指定有形文化財

しおらけじゅうたく 志村家住宅

一棟

指定年月日 平成22年11月26日
種 別 建造物
所 在 地 成城3-6-16
内部非公開

この住宅は昭和13年(1938年)に白鳳社建築工務所が設計した住宅です。同社は
大正10年(1921年)に創設された建築設計
施工会社です。東京を中心に活動し、主
に住宅を扱う工務店的な性格の強い会社でした。恐ら
く建物は昭和14年(1939年)頃に竣工したと考えられて
います。住宅は外観を洋風、内部を和洋折衷で計画し
ています。1階には洋間の応接室、2階には和室の二
間続きの座敷があり、用途に応じて和風、洋風それぞ
れの接客が可能でした。

また、屋敷地は大正14年(1925年)より成城学園の後
援会地所部が開発分譲した地域です。当時後援会地所
部では住宅地の外周は板塀や煉瓦塀は風致を害すとし
て、コンクリートか大谷石で土留めをし、芝を貼った
土堤に小樹木を植えるか生垣にするよう申し合せがあ
りました。現在でも志村家住宅は分譲地当時の雰囲気
を残す住宅として重要な文化財となっています。

なお、志村家住宅主屋は平成18年12月19日付で国登
録有形文化財の登録原簿に登録されましたが、区指定
有形文化財に指定されたことをもって、登録は解除さ
れました。



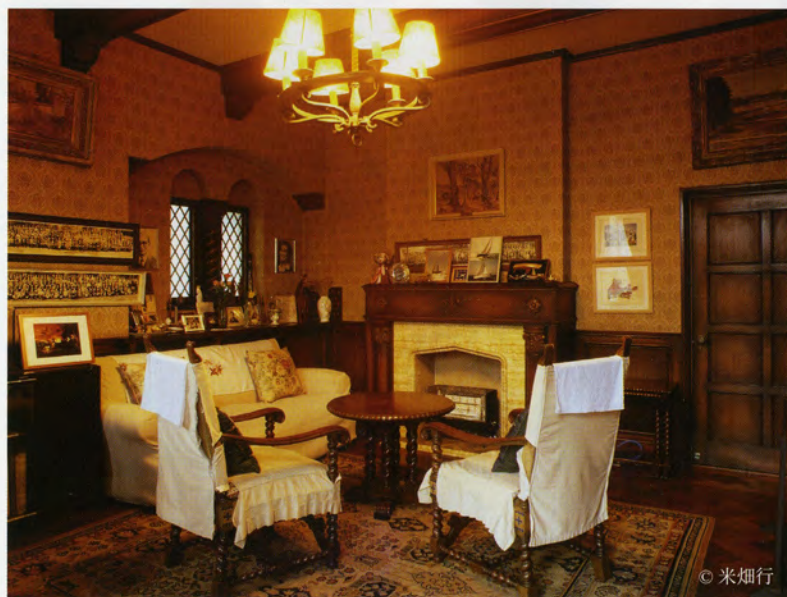
© 米畑行

南側全景



© 米畑行

2階座敷



© 米畑行

1階応接室



© 米畑行

玄関ホール

区登録有形文化財

ふなばしかんのんどう ずし
船橋観音堂厨子

一棟

登録年月日 平成22年11月26日

種 別 建造物

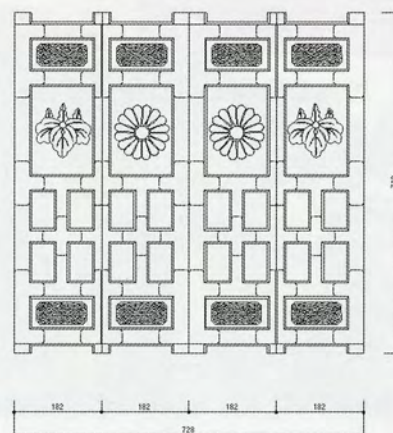
所 在 地 船橋1-20-16
(船橋観音堂内)

船橋観音堂の創建について、伝承では15世紀後半に吉良成高が船橋にあった浄徳庵を宮坂へ移し常德院とした代わりとして、観音堂を現在地に創ったといわれています。堂内に納められている厨子の扉に十六葉菊と五三の桐の家紋をかたどった飾りが付けられていることから、船橋観音堂と世田谷吉良家、常德院の関係が古くから指摘されています。

この厨子の建立年代を知る資料は現在のところ発見されていませんが、各部の彫刻絵様から判断すると、江戸時代中期の建立と推定されます。地域の歴史や文化を知るうえで貴重な建造物です。



正面組物



扉の文様図

国指定重要文化財

こうらいばんじょうげんしんやくけごんきょうしよ
高麗版貞元新訳華嚴經疏まきだいじゅう
巻第十

一巻

指定年月日 平成22年6月29日

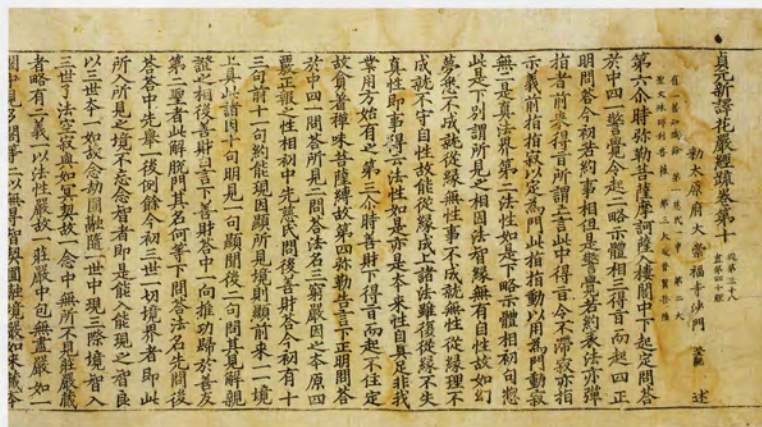
種 別 書跡・典籍

所 在 地 上野毛3-9-25

大東急記念文庫

(財団法人五島美術館)

『貞元新訳華嚴經疏』は唐の澄観（738～839・華嚴宗第4祖）による華嚴經の解説書で全十巻からなり、指定されたものはこのうちの第十巻目です。刊記（奥付）によれば高麗の僧・義天（1055～1101）によって寿昌元年（1095年）に刊行された高麗版の經典であることが知られます。大きさは縦が28.9cm、全長は1916.8cmもあります。現在完存する精刻本として東洋印刷史上極めて重要です。



巻頭部分



巻末部分

せたがや 文化創造塾

区教育委員会では、せたがや文化創造塾実行委員会と連携し様々な事業を実施しています。例年多くの皆様にご参加いただき、楽しみにされている方も多く見受けられるようになりました。せたがや文化創造塾の事業をきっかけに、身近にある文化財に関心を寄せていただければ幸いです。

ボランティア養成講座

現在、民具整理編と建造物編を行っています。次年度からは遺物整理ボランティアの養成講座も実施予定です。

☆☆区民パワーを文化財保護へつなげよう！☆☆

ー民具整理編ー

3年間、区立次大夫堀公園民家園や区立給田小学校の民具整理を中心に、民具の基礎知識、整理台帳の作り方などを学んできました。民具整理編は本年度で修了し、修了者（希望者）の方には次年度から文化財ボランティアとして活躍していただきます。

ー建造物編ー

現在10人の区民の方が、文化財建造物の見方や保存の方法を学びながら、自分たちができる文化財保護はどんなものなのか学習しています。

和古書本調査

旧等々力村鈴木家資料（写真）の目録作成と、区内和古書本の所在地を確認する作業を行いました。

★資料解説★

鈴木家では明治時代より材木などを商っており、この資料は明治39年(1906年)に作成された材木の仕入帳です。



建造物編の講義風景

秋の講座

秋の講座では毎年実行委員会の先生方に文化財の講演をいただいております。今年度は座学以外にも屋外での文化財見学も実施し、内容の充実を図りました。実施については区のおしらせ「せたがや」、区ホームページなどでご案内しております。今年度実施した内容は表のとおりです。

せたがやを知る・学ぶコース	
竹内順一先生	「ひょうげもの」の世界～古田織部と織部焼～
内田啓一先生	日本美術の流れからみる世田谷の文化財
田中宣一先生	世田谷区域の年中行事（上）
山崎久登先生	地名から探る世田谷の歴史と景観
森 安彦先生	幕末維新の動乱と世田谷
文化財探訪コース	
稲葉和也先生	玉川万葉歌碑探訪
星山晋也先生	(和泉多摩川～玉川万葉歌碑～伊豆美神社～狛江駅)



森安彦先生の講演の様子



雨天となった探訪コース
狛江市 伊豆美神社

第1回 宇奈根考古資料室 特別展 区指定有形文化財桜木遺跡出土品を展示しました

期間：平成22年6月5日(土)～7月3日(土)

宇奈根考古資料室では初めての試みとして、平成21年度に指定した「桜木遺跡出土の縄文時代遺物一括」の紹介をかねた特別展示を開催しました。

期間中は無休で開催し、来場者のリクエストに応じて学芸員が解説を行うなど、区内外から延べ300名以上の来場者があり、好評でした。



観覧風景

文化財保護強調週間2010

◆第3回 野毛古墳まつり

実施日：平成22年10月16日(土)、17日(日)

上野毛地区町会・昭和女子大学のご協力を得て第3回野毛古墳まつりを開催しました。

恒例となった野毛大塚古墳解説をはじめ、野毛古墳群散策、出土品展示、古代食実演・試食、ミニ土器づくり、火起こし体験に加え、今回は新たに「ストラップづくり(野毛キャラクター)」に挑戦しました。延べ1,450名の参加者でにぎわいました。



野毛大塚古墳解説



ストラップづくり



火起こし体験

◆区立岡本公園民家園開園30周年記念写真展

甦る古民家30th 第1章 未来へ届け、伝統文化 (8ページ参照)

実施日：平成22年11月2日(火)～25日(木) 北沢タウンホール 12月3日(金)～12日(日) 区立教育センター
開園から30年を経た区立岡本公園民家園を季節の写真を織り交ぜながら紹介しました。

◆旧林愛作邸 特別公開 実施日：平成22年11月13日(土)～15日(月)

講師に谷川正己氏(建築史家・工学博士)を招き、大正9年(1917年)にF・L・ライトが設計した旧林愛作邸の見学を行いました。

◆第5回 世田谷区遺跡調査・研究発表会 実施日：平成22年11月27日(土) 区立教育センター

本年度夏に実施した奥沢台遺跡の発掘調査報告と「喜多見中通遺跡出土馬具」(区指定有形文化財)について区学芸員が解説しました。続いて浜田晋介氏(日本大学文理学部教授)により「弥生時代後期の世田谷」と題した講演が行われ、約60名の参加があり盛況でした。

せたがやの文化財

No. 023

平成22年度事業報告

新しく登録・指定された文化財	1
瀬田遺跡環濠出土の古墳時代土器一括	2
志村家住宅	4
船橋観音堂厨子	5
高麗版貞元新訳華嚴經疏卷第十	5
平成22年度事業報告	6
せたがや文化創造塾	6
宇奈根考古資料室特別展	7
文化財保護強調週間2010	7
野毛古墳まつり他	
甦る古民家30th	8



© 清水襄

甦る古民家 30th



© 清水襄

昭和55年(1980年)11月29日に開園した区立岡本公園民家園は30周年を迎えました。区指定有形文化財第1号の旧長崎家住宅と区指定有形民俗文化財の旧浦野家土蔵を移築して江戸時代後期の典型的な農家の家屋敷を再現しています。

当時の生活の雰囲気を感じてみませんか。是非お訪ねください。

ご利用について

所在地 岡本2-19-1
開園時間 9:30～16:30
入園料 無料
休園日 毎週月曜日と年末年始
(12月28日～1月4日※元日は開園)
※月曜日が祝日の場合は翌日

団体利用・見学について

団体(10名以上)の主屋のご利用およびご見学は予約制になっております。詳しくは民家園管理事務所までお問合せください。

管理事務所 電話・ファックス: 03(3709)6959